

開講期	2025年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	4203 スポーツ文化論入門			開講形態（隔週 偶数＝隔週2コマ）	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	火曜4限				
教室	H403教室				
代表教員	制野 俊弘				
担当教員	制野 俊弘				
テーマと到達目標	スポーツを単に「する」ものとして捉える時代は終わり、「支える（関わる）」「見る（観る）」「知る」ことが強調され始めている。中でも最も重要なのは「知る（わかる）」ことであり、この講義ではスポーツが「自由」「平和」「人権」と結びついた社会的な存在として価値づけられ始めていることを学ぶ。				
概要	BLM運動への大阪選手の言動をはじめとしたスポーツ界の動き、女子サッカー選手の待遇問題に対する世界的な動向、平和の祭典としてのオリンピックまたはそれに関連するオリンピック・ムーブメントの功罪など、スポーツの文化的な背景の変容について問う。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	オリエンテーション～この講義の目的・趣旨～				対面授業
第2回	スポーツとは何か～スポーツの歴史・誕生～				対面授業
第3回	スポッとは何か～スポーツの歴史・近代スポーツの誕生～				対面授業
第4回	スポーツとは何か～スポーツの歴史・オリンピックの誕生と発展～				対面授業
第5回	スポーツとは何か～スポーツの歴史・その現在地～				対面授業
第6回	スポーツの現在地～メディアがつくるスポーツ～				対面授業
第7回	スポーツの現在地～商品化されたスポーツ～				対面授業
第8回	スポーツの現在地～スポーツにおける「疎外」～				対面授業
第9回	スポーツの現在地～スポーツと「人権」「平和」～				対面授業
第10回	スポーツの現在地～スポーツとアマチュアリズム～				対面授業
第11回	スポーツの未来～日本型スポーツ環境について考える～				対面授業
第12回	スポーツの未来～スポーツとナショナリズムについて考える～				対面授業
第13回	スポーツの未来～スポーツへの「主体的参加」について考える～				対面授業
第14回	スポーツの未来～スポーツを通じた社会変革の取り組み～				対面授業
第15回	スポーツの未来～まとめ～				対面授業
成績評価の基準	出席状況（30）・レポート（50）・授業での発信等（20）とします。				
履修にあたっての留意事項	テーマごとにグループでディスカッションをしてもらう予定です。資格課程の履修希望者にとっては、保健体育の授業の教材研究の一環として位置づけられます。オンライン授業に移行した場合は、zoomでの授業に切り換えます。その場合は、リンク先を掲示いたします。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	特になし		
教科書		教科書(ISBN)	
参考文献	山本敦久「ポスト・スポーツの時代」岩波書店 2020年 山本敦久「アスリートたちが変えるスポーツと身体の未来 セクシュアリティ・技術・身体」岩波書店 2022年 井上俊・菊幸一編「よくわかるスポーツ文化論・改訂版」ミネルヴァ書房 2020年 中村敏雄「近代スポーツの実像」創文企画 2007年 井上俊編「スポーツ文化を学ぶ人のために」世界思想社 1999年 中村敏雄「スポーツルール学への序章」大修館書店 1995年	参考文献(ISBN)	